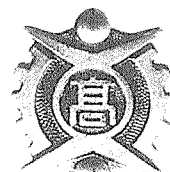


# PTA会報

発行所  
千葉県立京葉工業高等学校  
千葉県稲毛区穴川4-11-32  
電話 043 251 4197



## 校訓 進取創造 至誠明朗

### 「自分自身」



三年生の皆さん、  
ご卒業おめでとう  
ございます。皆さ  
ん一人ひとりに  
とって本校での三

年間を振り返り沢山の思い出が蘇って来ている事かと思えます。楽しい事ばかりではなかったと思いますが、よく乗り越えて頑張りましたね。本当におめでとうございます。

そして保護者の皆様、お子様が立派に成長され、本日、卒業という門出を迎えられました事、心よりお祝い申し上げます。保護者の皆様にお

PTA会長 森川 和子

かれましたも大きな区切りの日となることでしょう。在学中はPTA活動へのご支援ご協力、誠にありがとうございました。

後援会、同窓会、地域の方々にも無事に今日の日を迎えられました事をPTAを代表致しまして厚くお礼申し上げます。

PTA活動の中で一番大きなイベントは京工祭で私達PTAからは模擬店を出店させて頂きました。理事の皆様お手伝いをしてくださった保護者の皆様のご協力のお陰で楽しい二日間となり子供達と触れあい成長

### 「人生は一步から」

校長 関 敏昭



15年前、文部省（現文部科学省）主催の研修会において、池上彰※氏による「外国から見た日本」と題した講演を聞いた。外国の世界地図が、日本をどのように描いているから話が始まった。右端に日本がある。これまで日本が中心に描かれている地図しか見たことがなかった私には、少々衝撃的なものであった。地図を紹介したあと、日本の経済は、日本の政治は、日本の教育は、日本の文化は……と、次から次へと知らないことが、絶妙話法で飛び出し、あっとい

2時間であったことを思い出す。あれから15年、平成27年秋、池上氏の講演を聞く機会が得られた。テレビ画面の容姿と変わらない氏が目の前にいる。聞く人を引き付けてやまない話しに今回もくぎづけになった。

「これからのグローバル社会を生き抜く力」と題し、1000人の高校生に、世界を知ることの必要性を説いた。

これからの日本は、人口減少や経済成長鈍化等に伴い、否応なしに海外との連携協力体制が必須となる。日本国内においても、好むと好まざる

と海外との関わりは、どんな職業や

を間近で見ることができても感動しました。来場して下さった保護者の方々からは普段見られないお子様の姿を見たり、作品を見て「来て良かった」「楽しかった」と嬉しいお言葉を頂く事ができました。十一月のミニ集会では、本校の生徒が関わりのある大学、専門学校の関係者の方々にも参加して頂き沢山の情報提供をして貰い、そして、後援会同窓会の方々からも貴重なご意見を頂く事ができとても感謝しています。

子供達がボランティアとして行っています。まず地域の美化作業では、日頃通学路などで見守ってくださっている地域の方々への恩返しができていると思います。昨年より、仮設校舎

立場にあっても、言葉は通じなくても求められてくる。なら、どうしたらいいか？。一步を踏み出す勇氣が、解決してくれるのである。と、高校生にいかなる時も挑戦することを期待する言葉が深く残った。

この講演が終わったらパリに飛んでヨーロッパをレポートするのとこと。ちょうどパリでテロがあったときである。この時の様子は、年末に日本のTVで放送された。

画面から伝わるものはある。しかし、同じことでも、現地で見ると体験し感じることで現実を知ることとは大切である。海や世界遺産など素晴らしい景色も明を知ったら更に見識が広がるだろう。

様々な機会をとらえて多くの経験

の建設等で地域の方々には、ご迷惑をお掛けしてありますが、より良い学校を作っていく為に学校、PTA、地域とコミュニケーションを程良く取り合い今後も先生方と共に保護者の皆様のご協力をよろしくお願ひ申し上げます。そしてPTA役員、理事の方々には年間を通して色々な行事があり、その為に仕事や家事、育児が犠牲になってしまった事もあると思いますがこれからもより良い改善の為に尽力して下さいます様、感謝と共に今後ともよろしくお願ひ致します。校長先生をはじめ先生方におかれましては、三年間子供達を温かく見守り、時には厳しく指導して頂き、PTAの一員として心からお礼申し上げます。卒業生の皆さん、問題にぶつかり解決する

を積んでもらいたい。

心に残る

先日、棚の中の書類を整理していた。ある研修会で素晴らしい名言を言ってくれた講師のことばを書き残していた。何と響く言葉か！いまでもそう思う。

私だけのなかにしまっておくのはもったいないと思ひ紹介する。

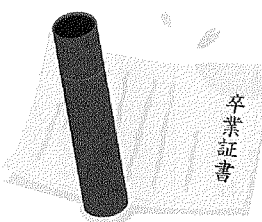
自分が変われば相手も変わる  
心が変われば態度も変わる  
態度が変われば行動も変わる  
行動が変われば習慣も変わる  
習慣が変われば人格が変わる  
人格が変われば運命が変わる  
運命が変われば人生が変わる  
どこでどのように変化するかは、その時々に分かれ道がある。若者が迷った時、人生経験をしてきた人達の言葉に大きく変わることが多々ある。

保護者と学校が手を合わせて子供たちの将来を導いていきたい。



この繰り返により力が付いてきます。逃げる間は決して力は付きません。自分が弱いからできない、動けない、動かないから弱いのです。動けば必ず何かが変わります。動けば必ず何かが身に付きます。動く事によって強くなります。

卒業証書



『最大の敵は自分自身』  
『最大の味方も自分自身』

勇氣を出して輝かしい未来に向かって羽ばたいて行く事を願っています。

※池上彰（いけがみあきら）（65才）  
ニュースキャスター・ジャーナリスト  
京葉工業大学 他 教授

# 卒業 おめでとう

## 燃える技術者



3学年主任  
堂田 生先生

く駆けつけた先生がたがらの  
卒業に寄せたメッセージ

ご卒業おめでとうございます。機会あるごとに紙面をお借りして卒業生の皆さんにお願いをしていることがあります。若者の理数系離れが深刻化し、工業立国としての日本の将来を危惧する声が聞かれはじめて久しく、各方面より発表される世界各国の順位においても様々な分野において日本がトップという状況は過去のものとなりつつあります。そのような時勢の中、専門知識・技術の修得を目指し、自ら専門高校を選択し、本校で学んできた君たちはたいへん貴重で、また、頼りがいのある若者たちだと思っています。君たちのような若者がいる限り、きっと日本は今後も世界の荒波を渡っていくものだと確信しています。その気概とプライドと初心を忘れずにこれからも精進を続けてください。

前任校の最寄り駅階段に掲示されているその学校の標語に「夢へ、希望へ、技術の一步で未来が開ける」「未来に夢を、夢を形に、技術で平和に貢献しよう」とあります。たいへんすばらしい標語だとその下を通り過す度に思っていました。私が卒業していく君たちにお願したいことがすべてこれに言い尽くされています。技術者とは、新しい知識技術

を創造し、ものづくりをすることを使命とし、また喜びとする人間です。しかし便利で売れる新製品を開発・販売して金儲けだけをすればいいというものではないはず。最近開発されたような介護ロボットや環境にやさしい自動車等に代表されるような、将来の人々の平和や地球環境等に貢献できる技術開発がこれからの技術者の大きな使命だと思います。是非君たちもこのような使命感に燃える技術者になっていただきたいと思っています。

これからの活躍を期待しています。今、新たな一步を

## 今、新たな一步を 踏み出す君たちへ



M3A担任  
高橋 亮先生

「ものづくり」とは人づくりと、ある技術者は言いました。ならば、よき「ものづくり」の為に、よき人物にならなければなりません。是非、多くの苦勞を重ね、泣きながら悔しがりながら「ものづくり」をして下さい。汗をかき手に豆をつくり、足が棒になりながらも一步一歩進んで行つて下さい。途方に暮れ空を見上げることもあるでしょう。でも、やまぬ雨がないように、信じて前へと進んで行つて下さい。信じてあなたの想いはその手を通じ「もの」に宿ります。あなたが創つたその、「もの」を手にした人が、「ありがとう」と言ってくれる喜びを知ってください。

経済的成功が全ての成功ではありません。誰かを幸せにできたのなら、よき仕事をしたのです。鬼と呼ばれ

## 天上天下唯我独尊



M3B担任  
荒木 健二先生

伝統ある本校を卒業する皆さん、これからは卒業生として、いつでも母校へ遊びに来てください。皆さんの活躍に期待しています。

皆さんはそれぞれ新しい生活を迎えますが就職してからの十年間が最も大切な時期です。人によっては入社してから数年で素晴らしい幸運に恵まれるかも知れません。決して焦る必要はありません。他人と比べても幸せにはなれません。それぞれの目標達成に向けて、真つ直ぐに一生懸命生きていってください。

何でもいいから自分のやりたいことを探しましょう。何事も経験です。から失敗を恐れず色々な事に挑戦してみてください。そして勝負するべきときは真剣に勝負しましょう。もし必要ならば十分考えてから行動しましょう。

皆さんに「天上天下唯我独尊」という言葉を贈ります。「人間の命の尊さは、能力、学歴、地位、名譽、財産などの有無を超えて、そのままの尊い、『自分』を見だすことが大切である」という教えます。それはまた。

## 幸せ



E3A担任  
菊地 恵美先生

卒業おめでとう。と言われても、めでたい実感がない人もいるかもしれませんね。高校を無事に卒業することは簡単なことではなく、まして工業高校を卒業することがどれだけの価値のあることなのか、いつかきつと実感する時が来るはず。これからは、それぞれが違った道を歩き始めますが、今身の回りにある物事は当たり前のものでなく、誰かや何かのお陰でそれが成り立っていることに目を向けてください。体験したことの方がわかりやすいのは当然です。でも、病氣と無縁の健康な人は病氣の人を思いやることなどできない、ということなら悲しすぎます。体験がなくても、想像し思い至ることできればと思いつつ、人の気持ちに気づけるようになるまでにはもう少し時間がかかりそうですね。これからの人生、名譽や地位、またはお金などを求めるのもいいですが、本当に大事なものがくわすかです。健康、やりがいのある仕事、愛すべき家族や友人など、もっと単純な意味で幸せな人生を送ってもらいたいと願っています。

## 感謝



E3B担任  
高橋 治喜先生

ご卒業おめでとうございます。さて、今はどう過ごされているでしょうか。毎週課されるレポートや定期

## 成長



S3担任  
吉田 佐奈恵先生

卒業おめでとうございます。この京葉工業での三年間はどうかでしたか。卒業が待ち遠しかった人、意外とあっという間でしかも結構充実していた人、後ほどどんな過ごし方をしていったでしょうか。一年生の時に、気の場合友達ができ一緒に設備システムの授業を学び始め、そして学校行事も色々経験し新しい発見や楽しさ、悔しさを繰り返しながら過ごした時間だったと思います。なかには中学生の気持ちだけが抜けきらず自分のやり

テストに解放され、一安心しているところでしょうか。担任として赴任したのは、2学年からでした。私は初めての担任で、勝手がわからず、みんなを困らせてしまう場面も多々あったかと思えます。それでも、卒業させる一心でここまで一生懸命に取り組んできました。私の指示したことに対して、色々意見も言ってくれたのは、とても参考になりました。次に似た場面にもなりました。次に似た場面がとることができました。私自身まだまだ未熟ものであります。みんなは座学の勉強をしていますが、私は教師としての勉強を皆とふれ合いながら、日々学ばせてもらっているところです。社会人になっても姿を変えて勉強は続きます。担任になって2年間、教えた事よりも、学んだ事の方が多いいと思います。とても良い経験になりました。みんなのクラスで本当に良かったです。心から感謝していますありがとうございます。

たい事を優先させ先生方に注意をされていた人もいました。忘れていませんか。二年生では学校生活全体に慣れ、かなり自由に過ごしていた人が多くなりました。とても残念でしたが、三年生になると進路を決めなくてはいけないのに他人事のように行動し、とても心配しました。

皆さんが落ち着いた頃にはもう卒業です。社会に出て働き始めると進学した人もいずれば就職です。ほめられる事も失敗して注意される事もあると思います。でもその経験がこれからのあなた方の成長につながりますので頑張ってください。数年後の大きく成長した姿を楽しみにしています。

### 卒業



Ｐ3担任  
伊藤 弘一先生

三年前、工業高校に不安と期待で入学した高校生活も今終わろうとしています。入学時に、「人間の脳には、たくさんのモーターがあり、努力することによりそのモーターが動く、普通は十個くらいのモーターしか動いていないが多くの努力をすることで何十、何千とモーターが動く」ということを話しました。この三年間君たちは、多くのモーターを動かすことができたでしょうか？入学時の目標が達成できたでしょうか？判断は本人に任せるとします。

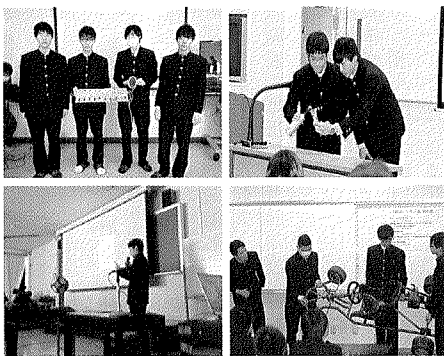
クラス全体としては、まじめに授業に取り組み何事にも一生懸命努力する生徒達だったと感じています。検定試験や普段の定期試験など教えてあげたり、教えてもらったり、また、お互いに競いあいみんなが向上

していたように思います。定期試験でのクラス平均点が上がったこと、校内漢字テストでクラス平均点が上がったこと、漢字テストの個人表彰者も多かったことなどはその証です。また、球技大会や文化祭などみんなの団結力や全員の協力で達成できたことが多くありました。これは一人一人が自己のなすべきことを理解し責任をもって果たした結果だと思います。

今、入学当時を思いだしあらためてこれからの人生への目標や夢を掲げてください。そして、その目標に向かって邁進し、素晴らしい人生を歩んでください。最後に次の言葉を贈ります。  
「幸福とは、困難が少ないことではなく、困難と戦って輝かしい勝利をおさめることである。」

### 各科の課題研究発表会

平成二八年一月二日、三日の間に三年生の課題研究発表会が各科で行われ生徒は一年間の成果を熱心に報告していた。



(各科の発表会風景)

### 修学旅行を終えて

ユイマール  
二学年主任 渡辺 良孝

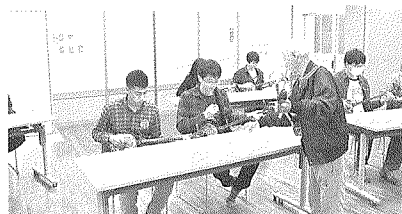
今年度の修学旅行は、平成二八年一月一七日～二〇日の三泊四日の日程で、沖縄方面に行つて参りました。

真冬の沖縄を計画するにあたっては、天候面やインフルエンザ等の心配を消すことはできませんが、美しい大自然の中で、沖縄のこれまで歩んできた独自の歴史、豊かな文化、人の温かさを体感することによって、生徒達がさらに大きく成長するという願いを達成するため実施に至りました。

計画段階で昨年度と変更した点は、初日の羽田空港での集合時間と、最終日の集合場所です。少しでも長い時間を沖縄で過ごさせたいという職員の意見を取り入れ、昨年度九時だった集合時間を七時三〇分に変えることとなり、当日車で送迎していただいたり、友人を前日泊めてくださったりと、多くの保護者のご協力をいただきました。また、最終日の午前中に国際通りで自由時間を過ごした後、バス集合してから空港へ移動するよりも直接空港へ集合した方が、より自由時間を確保してあげられるという配慮からこのように計画しました。昨年度の速足地であるデイズニーシー現地集合では、電車の乗り間違えや途中下車等で遅刻者が多数おりましたが、今回は心配には及びませんでした。

当日、那覇空港に到着すると、黒い雲が垂れこめ雨が降っていました。初日は、平和教育です。唯一日本で陸上戦が行われたこの場所で平和の尊さを学び、クラス写真撮影の予定も組んでいました。バスを降りたとき

には、無理をしても写真撮影を強行するつもりでしたが、台風のように吹き付けてくる雨風のため、予定していた場所での撮影はあきらめることとなりました。そしてその後、戦争当時、数百人が避難場所としていたといわれるガマ体験です。



うり・琉球ガラス・陶芸教室はどうだったかな？フルーツランドでの昼食を済ませ、いよいよ伊江島入村です。横断幕で迎えられた私たちは、初めて会った伊江島のおじい・おばあといきなり踊り始めました。伊江島には高校がないので、中学を卒業すると家から出て、本島で暮らしはじめるそうです。だから生徒達を、息子や娘が帰ってきたと歓迎してくれました。美味しいご飯をいただき、すばらしい景色を案内され、何より人の温かさをとても強く感じた様子でした。翌日昼まで、お世話になりました。「行つてらっしゃい」と送り出されました。伊江島を離れ、ジンベイザメのいる美ら海水族館を見学し、高級リゾートホテル「モントレール」に宿泊です。翌日は女優佐々木希さんを横目に首里城をまわりながら、最終日を堪能しました。実施にあたり、長い時間をかけて参りましたが、あつという間の四日間でした。生徒達が一生の思い出になってくれることを職員一同願っております。

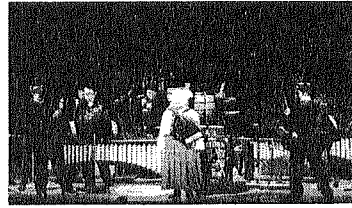
きには、無理をしても写真撮影を強行するつもりでしたが、台風のように吹き付けてくる雨風のため、予定していた場所での撮影はあきらめることとなりました。そしてその後、戦争当時、数百人が避難場所としていたといわれるガマ体験です。城本部壕に分かれて体験をしました。私は、機械科の生徒達と一緒に轟壕へ入りました。米軍の攻撃から隠れるための場所のため当然ですが、急な下り斜面や腰を低くしながらの入口は大変なものでした。中に入っても、手持ちの懐中電灯のスイッチを消すと真っ暗な場所で、当時の話を聞くのはかなりの衝撃でした。「殺されるくらいなら自決する。」一号車のバスガイドさんのお話は、周りの人たちが次々と自決していく中で、子供達をつれて山の中へ逃げて、何日も泥水や草を食べて生き延びたそうです。「だから、今、私がいる。」と話してくれました。山城本部壕は大雨のため中に入る事ができず、設備システム科と建設科は、バスの中で話を聞くことになりました。その後、気持ち切り替えて、ホテルで美味しい食事をいただいて、バスガイドさん達のサンシンライブを楽しみました。事前に練習していた「ユイユイ」のおかけもあり、大盛り上がりです。

二日目は、各コースに分かれての体験学習と、伊江島での民泊です。強風(寒風)の中、マリンスポーツチームは、元気にバナナボートを楽しんでくれました。お菓子作り・クラフトアート・サンシン教室・島ぞ



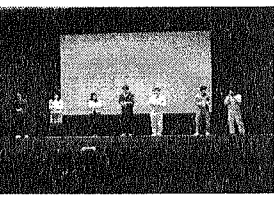
芸術鑑賞会・予備会

平成二七年十二月十六日に、打楽器集団・男群&音楽的道化師みまさんによる芸術鑑賞会が行われました。各階の後方入口より音楽を奏でながら、男群の皆さんが登場され、マリンバをはじめ様々な打楽器による演奏が始まりました。



中盤からは、みまさんの登場により、会場の雰囲気も一変し、選ばれた生徒がステージに上がり、打楽器を使い一緒にリズムを取りました。最後は会場全体が大いに盛り上がり、あつという間の楽しい時間でした。

平成二八年一月二五日に、生徒会主催の予備会が開催されました。  
・野球部有志  
・三年生へのアンケート  
・有志  
・三年担任へのアンケート  
・三年職員有志  
・ビデオレター  
・思い出スライド 等



今年度の進路状況概要

進路指導部

就職

千葉県内における高校生の雇用情勢は、景気の回復傾向と定年による退職者の増加により、昨年度と比較すると向上しました。昨年度と同様に建設業界、製造業を中心とした雇用の上昇率が高く、県内はもとより県外からの求人数の増加が見受けられました。また、それに関連した産業分野でも前年度比を上回る雇用情勢です。

本校における就職内定率(学校幹証)は、1月末現在98.2%で、前年同期より、0.1ポイントの増加となりました。就業場所については県内が77.7%、県外が21.3%という状況でした。

求人状況は、1月末現在で求人企業数が約1100社です。前年同期と比較すると16.5%の増加でした。千葉県内の就職内定状況で、工業高校の生徒の内定率は91.0%と高い割合となっています。しかし、この数値に慢心してはなりません。生徒はさらなる学力の向上や技術の向上、そしてコミュニケーション能力の向上を学生生活においてさらに伸ばすことが必要とされています。自己の夢や希望を実現させるためにも有意義に過ごして欲しいものです。

【参考】千葉県内の高校(全日制)の課程の学科別就職内定率は、家庭94.8%、工業91.0%、商業87.6%、総合84.1%、農業82.2%、普通68.4%の順となっている。  
(平成27年11月末現在 千葉県高等学校教育研究会進路指導部会)

公務員

今年度の公務員の応募状況は、昨年と変わらず高倍率であり、難しい状況は今後も続く予想されます。

本校の今年度の公務員の合格者は9名が合格しました。

公務員を志望する生徒は、早い時期から準備をし、学校で学習する教科以外の様々な分野を学ばなければなりません。また、専門学校等で行われている公務員講座や模擬試験を積極的に活用し実力をつける必要があります。

大学進学

今年度は28名の生徒が大学・短大への進学を希望し、1月末現在で26名が合格しました。入試形態別では、指定校推薦入試による合格者が19名、AO入試による合格者が6名、公募推薦による合格者が3名です。主なところは、千葉工業大学、日本大学、東京情報大学です。今年度も約7割が理工系学部・学科への進学となります。

大学側の入試形態の多様化により、近年では大学進学を目指す生徒が上昇傾向にあります。しかしながら、しっかりとした基礎学力が足りずに大学に入學しても授業についていけずに退学や留年を余儀なくする卒業生も少なくありません。入試形態にかかわらず、普段からの学習をしっかりとい行い努力を積み重ねることが重要です。さらに大学選びも慎重に行ってほしいものです。ただ単に大学に行けばよいという考えではなく、何を目的とし何を学ぶのかをしっかりとした考えをもって大学選びをしてください。

専門学校

今年度の専門学校進学希望者は39名、1月末現在で37名が合格しました。昨年と同様に、自動整備士の分野に進学する生徒が多く6名の生徒が合格しました。その他の分野としては専門(電気・電子・建築・情報)関係、スポーツ、美容美容関係、調理等、さまざまな分野への進学が決まっています。

入試形態別では、大学・短大進学と同様に、指定校推薦、公募推薦、AO入試となっています。専門学校は、専門性のある分野ですから卒業後の就職を含め

進路状況一覧表

(平成28年1月31日現在) [名]

進路	卒業 者数 (予定)	就 職					進 学			その他 ・ 未定
		一般 企業	公務 員	縁故	自営	自己	大学	短大	専修 学校	
男子	185	101	7	1	3	4	23	1	35	10
女子	12	6	2	0	1	0	1	0	2	0
合計	197	107	9	1	4	4	24	1	37	10
		125					62			

※その他・未定に受験中を含む

技術コンクール受賞者

た学校選びが必要となってきます。同じような学科でも専門学校によって、その特色や特徴、施設等がそれぞれ違います。事前に調べる事が多々ありますのでしっかりとした学校選択をしてください。また、近年は専門学校側によるAO入試の早期内定が問題となっており、早期に決まる事がよいことではなく、学校体験やオープンキャンパス、さらには平日の授業参観をするなどたくさんさんの情報を得てから学校選択をしましょう。

平成二七年一月二八日に千葉県高等学校工業教育研究会総合技術コンクールが開催され熱戦がくりひろげられ、その結果、本校で14名の入賞がありました。

- 教育長賞 建設部会で測量部門、建築設計製図部門と計算技術部門が受賞
- 知事賞 測量部門 林 優子
- 優秀賞 建築設計製図部門 北村星斗
- 計算技術部門 元良詩菜
- 優秀賞 機械設計製図部門 康本秀成
- 化学分析部門 森田 純
- 測量部門 浅野一生
- 建築設計製図部門 高橋里央
- 建築設計製図部門 大沢幸助
- 計算技術部門 澤田 颯
- 電子回路工作部門 三谷洋介
- 測量部門 鈴木翔大
- 計算技術部門 三村 力
- ライントレース部門 友永大雅
- 努力賞 溶接部門 佐藤大賀

## 訂正と文書の差し替えのお願い

P T A会報第108号の2ページに訂正箇所がございます。また、4ページの内容の一部に誤りがございました。

つきましては、2ページは下記のように訂正し、4ページはお差し替えいただきますようお願い申し上げます。

御手数をおかけいたしまして、誠に申し訳ございませんが、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

### 記

1 2ページの訂正

(誤) 菊地

(正) 菊池

2 4ページの差し替え

文書 1枚

以上